

秋田さきがけ

2013年(平成25年)12月29日 日曜日

釈迦内、浅舞両小児童 ヒマワリの栽培……庁 知事に活動報告

地域の休耕田を利用してヒマワリを栽培している大館市の釈迦内小学校と横手市の浅舞小学校の児童たちがこのほど、県庁を訪れ、佐竹敬久知事に活動報告を行った。

釈迦内小の6年生6人と浅舞小の5年生2人が訪問した。釈迦内小は2010年、浅舞小は12年からそれぞれヒマワリを栽培。小坂町の業者に収穫した種を使ったひまわり油の製造を委託している。

釈迦内小は11年から県内外でひまわり油を販売、本年度はひまわり油を使用したマヨネーズと、ヒマワリの種のお

佐竹知事(左)に本年度のヒマワリ栽培活動を報告する浅舞小児童たち



茶も販売している。石田謙君は「ヒマワリ栽培は新たな挑戦ができる可能性があるはず」と知事に語った。最後は、イベントなどで商品を販売する際の振り付けを披露した。

浅舞小の児童たちはヒマワリなどを栽培している県内五つの小学校が活動を報告し合った先月末の「ひまわりサミット+2in釈迦内」について報告。小國ひかりさんは「他校の児童と仲良くなれていい経験になった」と述べた。

佐竹知事は「ヒマワリの種の加工販売は将来、秋田の大きな産業になれる。ヒマワリは明るい花だから、前向きに明るさを大事にしてこれからも頑張ってもらいたい」と激励した。

(佐藤亮真)



佐竹知事(右)に宣伝の振り付けを披露する釈迦内小の児童たち